



Press release

2018年4月6日

アクサ生命、広島県と健康寿命の延伸に関する連携協力協定を締結

アクサ生命保険株式会社(本社:東京都港区、代表執行役社長兼CEO:ニック・レーン)は、2018年4月6日、広島県(知事:湯崎 英彦)と、健康寿命の延伸に関する連携協力協定を締結しました。

本協定は、広島県と当社が緊密な相互連携と協働により、社会全体に県民の健康増進に関する取り組みを広めることを目的としています。

本協定の締結により、当社が保険事業や「健康経営」^{*}推進、CR活動などを通じて培った知見と人的ネットワークを広島県の各種施策にお役立ていただき、県民の皆さまの健やかな生活と地域の発展のために共に取り組んでまいります。

(連携事項)

上記の目的を達成するため、次に掲げる事項について連携・協力する。

- (1) 県内企業に対し、健康経営の観点から従業員の健康増進に関する情報提供を行うこと
- (2) 健康増進に関する普及啓発やイベントなど、広島県の事業への協力を行うこと
- (3) 県民の健康増進に取り組む団体などの活動への支援を行うこと
- (4) その他、社会全体で広く県民の健康増進に取り組み、誰もが生き活きと安心して生活できる環境を整えること

アクサ生命は、広島県内において、1972年5月に三原商工会議所の特定退職金共済制度、同年11月に大竹商工会議所の生命共済制度を受託するなど、事業者の皆さまの福利向上と地域社会の発展を目的に、商工会議所共済制度の推進をはじめとする地域に根差した活動を続けてまいりました。

今後はさらに、健康経営の推進や健康増進のサポートなどにより、広島県民の皆さまの健やかで幸せな人生の良き「パートナー」を目指し、本協定の連携事項に取り組んでまいります。

※「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

アクサ生命について

アクサ生命は AXA のメンバーカンパニーとして 1994 年に設立されました。AXA が世界で培ってきた知識と経験を活かし、237 万の個人、2,200 の企業・団体のお客さまに、死亡保障や医療・がん保障、年金、資産形成などの幅広い商品を、多様な販売チャネルを通じてお届けしています。2016 年度には、2,522 億円の保険金や年金、給付金等をお支払いしています。また、「アクサ損害保険」と「アクサダイレクト生命」を連結する親会社として、子会社各社の経営管理・監督を行っています。

AXA グループについて

AXA は世界 64 ヶ国で 16 万 5,000 人の従業員を擁し、1 億 700 万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。国際会計基準に基づく 2016 年度通期の売上は 1,002 億ユーロ、アンダーライティング・アーニングス (基本利益) は 57 億ユーロ、2016 年 12 月 31 日時点における運用資産総額は 1 兆 4,290 億ユーロにのびます。AXA はユーロネクスト・パリのコンパートメント A に上場しており、AXA の米国預託株式は OTC QX プラットフォームで取引され、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス (DJSI) や FTSE4GOOD などの国際的な主要 SRI インデックスの構成銘柄として採用されています。また、国連環境計画・金融イニシアチブ (UNEP FI) による「持続可能な保険原則」および「責任投資原則」に署名しています。

本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします：

アクサ生命保険株式会社 メディア&パブリックリレーションズ

電話：03-6737-7140

FAX：03-6737-5964

<http://www.axa.co.jp>